

# 鹿児島県立短期大学創立70周年

# 同窓会報

第16号

発行

鹿児島県立短期大学  
同窓会

〒890-0005  
鹿児島市下伊敷1丁目52番1号  
TEL 099-248-9030



同窓会長あいさつ

## 千載一遇のチャンス

南谷 一生

全国の同窓会員の皆様お変わりなくご健勝のこととお喜び申し上げます。私は会長として五年目を迎えました。大学創立記念事業の実施に当たり全国の皆様方にご挨拶申し上げるのは初めてとなります。今年度の総会において、七〇周年の記念事業までは責任を果たしなさいという使命をいただき留任した次第です。力不足でご迷惑をお掛けしますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

短期大学が制度化された昭和二十五年、全国に十七の公立短期大学が設置されています。本県では、鹿児島県立大学の中に独立した短期大学部として文科、家政科及び社会科（翌年商経科と改称）が設置されました。

女子の大学進学率が二〇%程度かつ女子は四大よりも短大志向の強い時代の中、極めて優秀な学生が集まり、社会のリーダー的な人材が数多く育成されてき

た誇りある母校であります。

創立七〇周年を迎えた今年、令和時代の本格的な幕開けの年となることを期待してしました。しかし、新型コロナウイルスが全国で蔓延する異常事態となり、全世界が恐怖にさらされています。七月になり日本では終息に向け、自粛の解除や新しい生活様式等が模索されていた矢先、鹿児島市の天文館のバブで大規模クラスターが発生しました。感染者が増え続け九月一日現在、三六三人に達し、全国有数の感染県となっている状況です。七〇周年の機会に「安心・安全な故郷にゆつくりお帰りください。」と言えず、大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。

七〇周年記念事業は、同窓会名簿の発行、同窓会報の発行、母校に対する記念品の贈呈等については滞りなく実施できますが、十一月に予定していた五年ごとの祝賀会及び大学が初めて実施する予定であった「ホームカミングデー」については実施の目途が立たない状況であります。母校では、本年四月一日、学長交代があり、塩地洋氏が就任されました。京都大学教授、産業学会会長、アジア経営学会国際連合会長等を務め、学者でありながら実体経済の中でも活躍されている頼もしい学長が就任されたと歓迎しているところです。塩地学長は、母校の四年制大学への移行について強い意志を示し、在任中に確かな方向性を確立したいと新聞報道等でも言われています。大学と鹿児島県がその気になって取り組めば、同窓会の積年の願いが届く日は遠くないと思っています。七月十二日には県知事選挙があり、経済産業省出身の塩田康一氏が当選しました。選挙公約の七番目に「鹿児島が誇れる人づくり」を掲げ、「若者がふるさとに誇りを持てる郷土教育の充実を図る。」と決意を表明されています。また、塩地学長も「鹿児島に関する『郷土知』を深めることを教育の柱とする。」と言われています。両者には相通するものがあると感じます。四大化に向け、千載一遇のチャンスが訪れたと期待しています。七〇周年を迎える二〇二〇年頃には、母校の四大化に目安を

付けているという目標を掲げて努力してきましたが、私共の力不足で周囲の理解も得られず半歩も前に進まなかったことを深く反省しています。今後、大学と県が主体となり大学改革に取組み、創立時の県立大学が誕生することを強く願っています。

塩地学長は、母校の四年制大学への移行について強い意志を示し、在任中に確かな方向性を確立したいと新聞報道等でも言われています。大学と鹿児島県がその気になって取り組めば、同窓会の積年の願いが届く日は遠くないと思っています。

七月十二日には県知事選挙があり、経済産業省出身の塩田康一氏が当選しました。選挙公約の七番目に「鹿児島が誇れる人づくり」を掲げ、「若者がふるさとに誇りを持てる郷土教育の充実を図る。」と決意を表明されています。また、塩地学長も「鹿児島に関する『郷土知』を深めることを教育の柱とする。」と言われています。両者には相通するものがあると感じます。四大化に向け、千載一遇のチャンスが訪れたと期待しています。

七〇周年を迎える二〇二〇年頃には、母校の四大化に目安を

### 県立短期大学創立70周年 記念祝賀同窓会の中止について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い同窓会員の皆様を安心してご招待できなくなりました。苦渋の決断で11月22日予定の祝賀同窓会の中止を決定しました。

付けているという目標を掲げて努力してきましたが、私共の力不足で周囲の理解も得られず半歩も前に進まなかったことを深く反省しています。今後、大学と県が主体となり大学改革に取組み、創立時の県立大学が誕生することを強く願っています。



70周年記念ロゴ



県立短期大学創立七〇周年に寄せて

## 学生に望むこと

県立短期大学 学長 塩地 洋

後記の文章は、今年度の新入生向け冊子に掲載した学長からのメッセージです。

タイトルは当初は「世界に一つだけの花」としていましたが、作詞者が逮捕されたため、「じっくりと考えてください」に変更しました。まずはお読みください。

### じっくりと考えてください

大学生は、高校生と比較すると、よりいつそう自らの頭で考え、決定し、行動しなければなりません。行動の選択範囲が広くなるとともに責任も大きくなります。

親や先生に頼ることがだんだんと小さくなります。

そのようななかで二／三年間の学生生活において大きく飛躍する人もいますが、ほとんど変わらない人も出てきます。

ではどのような心構えが必要なのでしょう。

めてジコチュー的、利那的な人生観、世界観である「私・今・ここ」主義であると批判します。

この論争をあなたはどうか考えますか。じっくりと考えてください。

二／三年間の学生生活を通じてあなた自身の答えを、結果をもって示してください。県短はその答えを出すための最高の場を用意しています。

このメッセージに込めた一つの狙いは、自分自身の頭で考えることの重要性です。高校までの受験勉強においては、一つの問題に対する正解は基本的には一つでした。とはいえ大学教育においては立場によって正解が異なることもあります。あるいは正解のない問題もあります。

また結論に至る過程で高校までは自分自身で決めるよりも、先生や両親の助言を受け入れることもあったと思われれます。しかし大学生になると社会生活において誰の助けもなしで独断しなければならぬことも多く出てきます。

県立短期大学に赴任してまだわずか数カ月ですが、「ケンタンの学生は真面目でよく勉強するが、…」「高校の時も今も両親や先生の言うことをよく聞く素直な学生だが、…」「協調性や同調性はあるが、…」という意見をよく聞きます。

本学の教職員に課せられた教育上の一つの課題は、学生のそうした真面目／素直／協調性という強みにさらに磨きをかけながら、「…」のところで述べられる something に対して、新たな価値観、行動力、自立性を学生に伝えていくことであると考えています。

県短ホームページに「写真で振り返る県短70年」が掲載されていますのでご覧ください。



# 鹿児島県立短期大学創立70年のあゆみ



加治屋町の旧制県立第一高等女学校  
専攻科校舎(現県立鹿児島中央高等学校)

## 前身

- 大正11年 旧制鹿児島県立第一高等学校(現鶴丸高等学校、現鹿児島中央高等学校校舎)に専攻科(3年制)開設
- 昭和2年 専攻科を第一部家事科、第二部裁縫科に改組
- 同 22年 鹿児島県立女子専門学校(3年制)に改組  
国文科、英文科、保健科(同年10月生活科と改称)及び被服科を設置
- 同 23年 加治屋町から薬師町に移転
- 同 25年 新設された県立短期大学部に併合され、下伊敷町へ移転

## 鹿児島県立短期大学の沿革

- 昭和25年 鹿児島県立大学(下伊敷町)に県立女子専門学校を併合して短期大学部が設置され、文科、家政科及び社会科が置かれた。  
短期大学部は県立大学の中にあっても制度上独立した大学として扱われ、初代学長として女子専門学校長中村政雄氏が就任した。
- 同 26年 社会科を商経科に改称  
第二部(商経科、電気工学科)新設
- 同 33年 鹿児島県立短期大学に改称
- 同 34年 元県立盲学校付近から隣接地(現在地)の鹿児島大学教育学部・県立大学工学部跡地へ移転
- 同 35年 第二部の電気工学科廃止
- 同年~37年 鉄筋2階建て校舎2棟、附属図書館、体育館、運動場、本館棟の施設整備
- 同 44年 体育館改築整備
- 同 51年 附属図書館改築整備
- 同 52年 学科に専攻課程を設定、3号館整備  
文 科:国文、英文  
家政科:被服、食物栄養
- 平成7年 学科、専攻課程の変更  
文学科:日本語日本文学専攻、英語英文学専攻  
生活科学科:食物栄養専攻、生活科学専攻  
商経学科:経済専攻、経営情報専攻  
第二部商経学科(専攻なし)
- 令和元年 体育館耐震改修・校舎EV整備
- 平成2年3月現在の卒業生総数 15,910名



創立当時の学舎(旧陸軍45連隊兵舎)



充実した施設と蔵書の附属図書館



令和2年3月新型コロナ禍の全員マスク  
県内四年・短期大学で唯一卒業式

鹿児島県立短期大学の国際交流

学生部長 文学科教授 木戸 裕子

鹿児島県立短期大学は今年で七〇周年を迎えましたが、本学の特徴ある教育として、国際交流活動があります。ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジは平成八(一九九六)年に、中国江蘇省の南京農業大学国際教育学院とは平成十五(二〇〇三)年に研究交流協定を結び、それぞれ翌年から学生の海外研修を行っています。

今年度は残念ながら新型コロナウイルスの世界的な流行のため、両大学とのいずれの交流も中止となりましたが、ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジでの研修は二十四年、南京農業大学での研修は十五年に及ぶ歴史があります。

今でこそ、多くの大学が海外の大学と研究交流協定を結び学生を派遣していますが、本学の国際交流は規模の小さな公立大学・短大としては早い時期に始まり実績を積んだものとして自慢できる事業だと思っています。

短期研修は、本学の正式な二単位分の外国語科目「異文化コミュニケーション」として、八月末から九月中旬の二週間で行われます。ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジでの研修には毎年三十人前後の学生が、南京農業大学国際教育学院での研修は

年によって異なりますが十人前後の学生が参加しています。

ハワイは日本でも人気のある観光地ですが、「異文化コミュニケーション」では午前中に英語のクラス、午後はハワイ文化圏のワークショップや施設訪問を行い、英語でのコミュニケーション能力を伸ばすとともに、フラのレッスンやパール・ハーバーの見学などハワイの文化・歴史を学ぶプログラムになるよう工夫されています。昨年度はハワイ日本文化センターを訪れてハワイの日本人移民の歴史を学びました。



ハワイ研修

近年、日本人の対中イメージは悪化していますが、南京での「異文化コミュニケーション」に参加する学生たちは、自分の目で等身大の中国を見てみようという目的を持っています。南京農業大学での研修もハワイと同様、

午前中が中国語のクラス、午後が中国文化の体験や見学ですが、特徴的なのは、南京農業大学外語学院の日本語専攻の学生ボランティアがすべての活動に付き添いサポートしてくれていることです。昨年度は日本語専攻の学生と合同の授業もありました。学生たちは自分と同世代の中国の学生と交流することで、日中の良い面・悪い面を自分なりに考えることができたようです。ただ、中国の学生ボランティアの日本語学習意欲のほうが強く、本学の学生が中国語を使う機会が少なかったのは少し残念でした。大学の中では意外と英語が通じたという感想もありました。

短期研修だけでなく、ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジとは協定留学制度、南京農業大学国際教育学院とは交換留学制度を結び、半年から一年の期間学生を派遣しています。南京農業大学からは外語学院の日本語専攻の学生が交換留学生として本学で学んでいます。

ハワイ大学からは残念ながら本学に学生が来ることはありませんが、南京農業大学からは毎年五人の留学生が訪れます(前期のみ二人、後期のみ二人、通年一人)。彼らは、短大の近くの県職員住宅で暮らし、鹿児島島の普通の生活を体験していきます。毎年、彼らは鹿児島の人々の温かさや優しさに、自然の美しさや感激して帰っていきま

育祭など学生生活も満喫しています。本学には留学生用の授業はないので、日本人の学生と一緒に日本語で県短の授業を受けることとなります。過去には、本学での学習をばねに、日本の大学院に進学した学生もいました。彼らの熱心さは本学の学生にとっても大きな刺激になっていると思います。

これらの国際交流を通じて、本学の学生が卒業後も広い視野を持って県内外で活躍してほしいと願っています。

同窓会の皆様にも、これらの活動に暖かいご理解とご支援を賜れば幸いです。

中国研修





### 第一部自治会長 前 里緒奈

今年度の、第一部自治会長になりました、英語英文学専攻の前 里緒奈です。今年度は新型コロナウイルス感染防止のために様々なイベントが中止されざるを得ない状態ですが、自分たちができることを精一杯して、楽しい思い出を作れるように努めていきますのでよろしくお願い致します！



### 第二部自治会長 翁長 亜衣

今年度の第二部自治会長になりました、第二部商経学科の翁長 亜衣です。今年度は県短が70周年という節目の年になります。この良き年に県短に新しい風を吹かせられるよう頑張ります。できることを一つずつ行い、二部の学生が楽しいキャンパスライフを送れるように努めていきます。よろしくお願い致します。

## 【2020年度 活動の様子】

第一部自治会は、今年の7月30日に、浴衣でいを行いました！  
感染拡大防止のためにInstagramのインスタライブを利用して、リモートで抽選会を実施しました！



第二部自治会は、今年の7月24日に一年生みのレクリエーションを行いました。体育館で開催し、換気やアルコール消毒を徹底しながら、自己紹介、ジェスチャーしりとりをし、楽しい時間になりました。

### 【今年度の自治会活動について】

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大が心配される影響で、新入生歓迎会や春季体育祭等の様々なイベントが中止されました。しかし、学生の生活に少しでも明るいイベントを催すことができないかと考えて、これからも自治会活動に努めていく所存ですので、応援をよろしくお願い致します。

鹿児島市役所支部交流会

国文専攻 昭和五十六年卒

令和二年支部長就任 上山 佳子



鹿児島市役所では、現在、四〇〇名を超える県立短大の卒業生が、市長事務部局、交通局、水道局など、様々な部署で働いています。

市役所は、どの部署においても市民生活に密接に関わり、市民と接する機会が多い職場であり、職員は、数年サイクルの人事異動によって様々な部署を経験します。新しい部署ではそれまでの経験を活かすと同時に、新たな分野での知識・スキルアップも必要となることから、異動の度毎に新鮮な気持ちで仕事に向き合える職場でもありません。

鹿児島市役所の県立短大同窓会は、平成十三年に県立短大一部の卒業生で

発足し、毎年交流会を開催してまい

たが、令和元年から県立短大二部の卒業生も一緒にということになり、一気に会員が増加しました。一年に一回ではありますが、職場も世代も異なる同窓生たちが集い、顔を合わせての情報交換や、日頃の悩みを語り合える良き機会となっております。しかしながら、今年度の交流会は新型コロナウイルス感染症の関係で開催は困難な状況です。

本市が、現在の県立短大の所在地である伊敷村(下伊敷を含む)と合併してから十月で七十年となりますが、県立短大の皆様には、永年にわたり地域振興や鹿児島市との包括連携協定に基づく事業等にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

県立短期大学の皆様、在学中も、卒業後もよろしくお付き合いください。



鹿児島県庁支部交流会

二部商経科 昭和五十八年卒

令和二年支部長就任 有馬 浩幸



鹿児島県庁では現在約二二〇名の卒業生が県内各地で働いています。

その内約六四%を二部の卒業生が占めています。

県庁県短同窓会は、平成三〇年九月に福元洋一さん(二部五十四年卒)と片平洋一さん(二部五十九年卒)のご尽力により設立することが出来ました。感謝です。

設立総会には離島を含む県内各地から九〇名が集まり、当初予定していた会場に入りきれずに会場を変更するハプニングがありました。が無事盛大に終えることが出来ました。

この同窓会に参加することで、世代も分野も勤務地も異なる卒業生との間に築くことのできる絆は、県庁生活にお

いて必ず役に立つものと思っています。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の関係で開催が危ぶまれています。が、仕事の枠を超えた県職員同士が語り合える貴重な機会であることから、今後も引き続き開催し、絆を深めていきたいと思っています。

学科別内訳

- 一部文学科 三十五名
  - 家政・生活科学学科 十四名
  - 商経学科 三〇名
  - 二部商経学科 一四〇名
- (在学生を含む)



### 豊かに生きる土台を 示唆してくれた短大

第一回生（昭和二十七年卒）  
家政科生活科学専攻 千石 悦子



創立七〇周年で第一回生の千石悦子先輩へ寄稿をお願いしました  
錦城流総伝師範 六十五周年祝賀会では七回生の牧瑞子師範と祝吟を披露

入学時の昭和二十五年といえは終戦後五年。復興まっただなかの時代でした。

そこに、県立短期大学の創設は大きな夢をひろげました。

伊敷の旧兵舎跡、木造二階建一棟!!

先生方は四年大と同じぐらいの実力や身につけなければと。私達も講義・実習に熱心にとりくみました。

一番の思い出は長船鏡湖先生の採点

で、七輪に火をおこしてカステラをやることでした。栄養化学の坂元先生、食品化学の白坂先生、他の先生方にも恵まれ、なつかしく思います。栄養士の国家試験は熊本までいきました。

卒業という時、昭和二十三年、国・県の新規事業として農業、生活改善普及事業が発足しており、友達三人で面白そうだねと生活改良普及員の資格試験を受け合格し県に採用、研修を経て担当地区（加世田）に赴任しました。

その頃はテレビもなく、農家の主婦達は普及員の指導を情報源として待ち望んでおり緑の自転車を踏みました。スクーター、車へと。

当時の農村生活の課題は、衣食住、家庭管理、家族関係など多岐にわたる、その解決のため県短で学んだ知識を基に、国や県の研修を受けながら自信ありげに話や実習をしたものです。

はじめは無口だった主婦達も会を重ねる毎に意見や楽しみを見出し、遂に県生活研究（改善）グループを結成し活動しております。

彼女達の活動は、農村地域の女性の地位向上と地域活性化に果たした役割は大きいものがあります。

これは生活改良普及員の後輩達が引き継ぎ頑張つてこられた結果です。

希望は、時代の要請に応じた短大、四年制大学を実現し社会に役立つと共に、自身の人生も豊かに生きて欲しいと思います。

### 創立七〇周年によせて

第十二回生（昭和三十八年卒）  
生活科学専攻 新田 弘子



私は五姉妹の長女、昭和三十六年頃は農家の娘を大学に出すことに近所のおじさんたちはバカゲタことだと笑っていました。どん百姓の父は女も手に技術を付ける方が良く、短大に出してくれました。県立短大の家政科生活科学専攻では、社会に出ても四年制大学卒業生にも負けないぐらいの実力を付けて卒業して貰いたいと先生方に鍛えられました。

昭和三十八年卒業、生活改良普及員

として鹿児島県庁に就職しました。県内の農家の暮らしの改善や農村地域の活性化を図るための指導員です。農家の方々に信頼されてやりがいのある仕事でした。

現在は生活改良普及員という名称はなく普及指導員になり、四年制大学等卒業資格が必要になりました。時代の変化と共に社会が必要とする技術も変わって来ています。

七〇周年を機に県立短大も、さらに大きく飛躍してほしいと期待しています。



昭和38年  
卒業式の風景

### 愛情に裏打ちされた記憶 力のすばらしさ ―茅野艶子先生のご遺徳 を偲んで―

第十二回生(昭和三十八年卒)

被服専攻 森田 寛子

元・助手、非常勤講師



茅野先生は、平成三十一年四月二日、九十八歳でご逝去されました。

まず、感心させられたことは赴任当初から退職されるまでの、すべての教員の方々のことを、フルネームでしっかり覚えておられたことです。このことは、先生がいかに愛情深く一人一人に接し、ご指導くださったからに外なりません。

私の記憶に誤りがなければ、先生のご病状の推移は次の通りになります。

○平成二十一年一月、八十八歳の誕

生日を目前にして、今村総合病院に入院される。

○同年二月、関連施設、特老「愛と結の街」へ入所される。

○平成二十二年四月、三宅病院併設の「みやび」に移られ、穏やかな八年余りを過ごされる。

○最終的には、誤嚥性肺炎のための治療を続けながら九十八歳の天寿を全うされる。

次に印象的なエピソードなどを、ご紹介致します。

入所初めの頃は、施設に慣れないことや離れて暮らす妹さんの身を案じて「家に帰りたい」と口にされていました。

また「みやび」に入所されていることを聞きつけた卒業生が、よく訪ねてみえていたようです。

その中のおひとりが足を少し引きずりながらタクシーで駆けつけて「先生を拜ませてください」といわれ、車椅子の側に跪き、今の私があるのは先生のお陰ですと手を合わせて深々と頭を下げられたそうです。

この光景を目にされたスタッフの方々は、「これぞ教師冥利に尽きる」と先生のご仁徳に深く感動されたようです。

近くに住む県短卒の仲間、富満貴子さん、松元眞美さん、外菌絹代さんと私の四人で、時々お見舞いを兼ねミニ

同窓会を開き、先生のご遺徳を偲ばせていただくことでした。今では心に大きな穴があいて、道しるべを失ったような心境です。

改めて、先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

### 創立七〇周年によせて

第十三回生(昭和三十九年卒)

商経科 松木田 義和



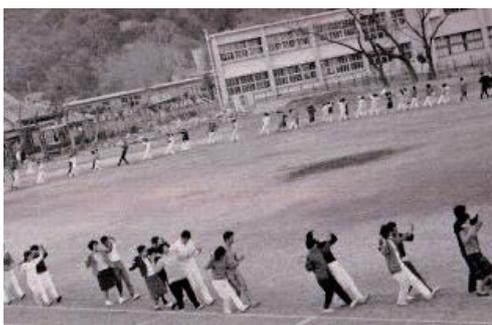
在学中、二年の「文化祭」で、仲間と全学生を対象に学内満足度調査を実施し、『これで良いのか県短大教授陣』として発表した。話題になったのですが、私は学科長から大目玉を食らいました。その日は、J・Fケネディ米

大統領が暗殺された、歴史的な日であったので鮮明に記憶しています。

○県に入庁四年目から、市内に点在する工場の騒音、振動、公害等もあり、鹿児島湾の臨海部への移転のための「集団化・団地化」が始まり、その業務に従事し、(中小企業的高度化事業) 団地組合・構成個別企業の参加者と一緒になり、移転に向け汗を流しました。

これらが、現在の機械金属団地から卸商業団地等の工場等群に立地しています。

○トイレットペーパーが、世の中から消えた「狂乱物価の(昭和四十九年〜)の三年間は、県民向けと内部対応の仕事で、「猛烈社



昭和39年体育祭フォークダンス

員・体力の限界超」の忙しさが続きました。この仕事の経験から、以降の仕事については、怖いものがなくなりました。

○特異な仕事としては、県が訴えられて、地方裁判所の審理で、被告人席に立たされた経験と判決の言わたし時の緊張は、今でも忘れられないです。

また、県内の特産品・伝統工芸品等の売り込みのため、首都圏の最先端の媒体や分野・業態へのミドル・セールスを業界と一緒にやって行いました。マーケティング・プロモーションの難しさ、コストパフォーマンスが非常に勉強になりました。

○退職後、四年間程、従業員一〇〇人強の法人の責任者として、生の経営管理の実践をさせて頂きましたが、経営者の責任の重さ・決断のあり方等経営者の苦しみ・孤独・厳しさを感じました。

その後、今年の六月末まで、第三セクターの株式会社で監査役として、会社の相談にのっていました。

○今は、肩の荷が下りたので、趣味の木工製品製作と同ボランティアや仲間と同好会をつくり、作品展へ参

加し、計画して楽しんでいきます。

最後に、後輩の学生の皆様へ一言

今後の時代、大事なことは、

○一芸に秀でた人は報われる。

(スペシャリスト)

○中途半端なことしか出来ない人は報われない。

(ジェネラリスト)

日本は、プロ(スペシャリスト)主体の社会、プロになるために自分に投資しよう。

### 県短での思い出の講義

第十三回生(昭和四十一年卒)

二部商経科卒 畠中 敏彦



卒業して半世紀以上が経過した。学生時代、ほとんど学業に励んだ記憶は

ない。昼間働いた後の夜の授業は、疲れ切っていてエネルギーが残っていないかった、というのが正当かもしれない。「本日の〇〇は休講」の掲示があると嬉しくて仕方なかった。それでも、当時の講義内容に感銘したのもも少なくない。思い出すまま羅列的に述べてみましょう。

●「統計ほどウソの数字はない」当時の経済学?担当の先生(名前は失念した)の話である。私自身、サラリーマン時代、統計学の仕事を担当、また多くの標本調査を行なったことから経験的に先生の言葉に共感するものがある。つまり統計には、関係者(機関)の思惑や利害が絡んでくると、ウソの数字が入り込む余地があるということだ。最近の財務省の資料改ざん問題は最たるものだろう。

統計の数字は全面的に信用するのではなく、あくまで「傾向値」として捉えた方がいいのかもしれない。

●丹下先生(哲学)のベルグソンの「創造的進化」の講義。いかにも哲学者という風貌を備えトットツとした先生の講義は、新鮮で興味深かった。消化不良のまま終わってしまったのは残念である。その

中身を理路整然と説明するものは持ち合わせていないが、その経験は貴重であった。

#### ●佐藤先生の教育原則

教育実習を専攻したが、先生の経験に基づく額に汗した熱弁は、説得力があり今でも忘れられない。その影響を受け一時期、教師の道を真剣に考えたのも事実である。大変、楽しい授業であった。

繰り返しになるが、県短でほとんど勉強はしなかったが、これらの講義が私の人生に潤いを与えてくれたのは間違いない。



二部商経科の授業



## 「手を握る」こと

第十七回生(昭和四十三年卒)

生活科学専攻 油田 幸子

鹿児島厚生病院勤務



人生の中で何人の人の手を握るだろうか。私を手を握ることを、大切に思うようになったのは、多くの忘れられない患者さんとの出会いの積み重ねの結果だと思っている。

現在の職場に管理栄養士として入職して一年経った頃担当した肝臓がん末期の患者さん、県内では優良企業の管理職の方で、まだまだ未熟な私から見ると、平和に毎日を送られているように見えた。ある日いつもの通り声をかけると、大きな手を出されて、私の手を握りながら「油田さんのご飯をもう一度食べたい!」「大丈夫、このお腹がもうちょっと減ったらね!」その実この患者さんは、腹水でパンパン、

一ヵ月以上輸液管理で経口摂取禁止、この会話の三日後に旅立たれた。その時の握り方は、とても力強かった。それは、はもつと生きたいという彼の心の叫びがこもっていたのではないかと…。

消化器系の難病の若い患者さんは、入退院を繰り返す。そしてとても人柄が良い。いまは新しい治療法が確立して長期療養はなくなったが、以前の栄養療法は成分栄養、大きな点滴台をカタカタと鳴らしながら病棟を闊歩しているのはそのグループ、〇〇軍団と名付けた。生活療法と銘打って(もちろん主治医の許可を得て)、行軍食に使うカード作りや掲示用のシートヘイラストを描いてもらったり。とくにそういうことを得意にしている女の子もいて「魔法の手だね!」と言うと、「ほら同じだよ!」と言って誇らしげに握手を求めてくる。彼女も二児の母になった。

同じ難病の青年で重症疾患を併発した患者さんがいた。長期入院で落ち込むような日もあったと思う。家族のことや、将来のことや、いろいろな不安を話してくれた。必ずお喋りがすむ

と「ありがとう!」と言って手を伸ばしてきた。その彼も最後は他院で旅立ったが、「元気になって帰ってくるから」、その握手は弱々しかった。重度の口内炎で少しでも楽になるようにと氷片を渡してくれた主治医に、「ありがとう、美味しい!」と言い、手を握りながら旅立ったと聞いた。

今も医療機関に属させていたでいるが患者訪問をしたときは必ず手を取るようにしている。力が込められていけば「良い調子だね!」力がなければ「ご飯を食べて元氣出そうね!」勝手な言い草だが、退院が近い・まだまだの区分けを教えてくださいのように感じる。今でこそ「エア・タッチ」なるものが求められているが、私にとって患者さんの手は、気持ちをつなぐパイプのようなものだ。

管理栄養士の仕事は、命を与えられ、全うするまで関わりあうものだと思う。県短の誇れる先輩方が培ってこられた「鹿児島県の管理栄養士」というパイオニア的存在を、これからも脈々とつないで欲しい。

そのためのとっておきの秘訣、たくさんさんの友達を作ろう。友達とは同じ年

代だけにあらず!おチビさんたちとも、小学生とも、おなかの大きい新米ママさんとも、そして高齢者の皆さんとも…、患者さんも患者さんでなくても私たちの大切な先生なのだから。



生活科学専攻の授業



### リカレント「学び直し」

第十七回生（昭和四十五年卒）

一部商経科 木島 隆



創立七〇周年おめでとうございませう。大学受験に失敗し浪人を覚悟していたところ、五月県警察から採用通知が届き国分警察署配置「国分は通勤通学が可能とのこと」。六時三十分の汽車で通勤、県短に着くのは毎日遅刻。「国分から通学する者もいる」と伊伏彰先生は高評価。

一年半後に県警察本部へ転勤。日頃の勉強不足で屋上近くで勉強していると「勤労学生頑張るね」とまた高評価。当時は学生運動が激しく、県短も本館バリケード封鎖があった。混沌とした時代、二部学生は公務員、保険会社、九電、専売公社などが多く、その後の将来に大いに助けられた。六十歳定年後の第二の職場は保険代

理店。競合する保険大手の課長のフアイナンシャルプランナーFP三級の名刺を見て、FP二級を取得。六十六歳で退職。苦手なパソコンを少しでも克服するため、六十八歳から二年間科目履修生としてパソコン関係科目を受講。OB会報に「七十歳古希どこ吹く風」と科目履修生を投稿したところ、七十歳にして一般社団法人に再々就職しフルタイムで働いている。

今の仕事でも科目履修生の二年間が大いに役立っている。同窓会員に言いたい、リカレント「学び直し」は自己啓発。一年の予定が一年延びて再再々就職だと笑っていたところ、コロナ禍で一変している。行政機関の使命「どうすれば実施できるか」資料を作成して切々と訴えている。

県短の科目履修生は学生と一緒に勉強し、試験で単位も取得できる。試験で単位をもらえると七十歳でもうれいものだ。いまさら聞けないホームページ、データベースなど。働きながら昼夜学べる科目履修生。授業料が安いのも魅力、前・後期とも十五回授業で一萬五千円弱。

もう一度言う。どの科目のリカレント「学び直し」にも県短の授業は楽しく分かり易く最高である。

### 県立短大

### 創立七〇周年によせて

第十九回生（昭和四十五年卒）

国文科 宮竹 道子



私たち国文科四十五年卒は毎年ミニ同窓会をやっています。十一月二十三日（祝日）アミュープラザ五階にてランチと決めています。

Tさんが某食品会社のエッセイコンテストで最優秀賞を受賞し、ヨーロッパ旅行にご招待の朗報に四人でお祝いしました。

「さすが我が国文科卒ね！」  
「作家デビューはいつになるかな？」と盛り上がり、県短の思い出も語りありました。

この翌年から私が鹿児島県内の同期生に十一月月上旬ファクスし参加をよびかけています。もう三〇年続いています。昨年は古希同窓会だったので、東

京や愛知県からの参加がありました。五〇年ぶりの再会でした。顔、体型はそれなりに変化していますが、声、口調は変わらず、話題は身体のおとろえ、病歴、息子・娘が結婚しない、孫たちの写真の見せあい、老々介護、など止まらず、あつという間に時間が過ぎ、東京へ帰る友を空港行きのバスターミナルまで皆で行き見送って解散でした。

他の科の方々、後輩の皆さんどなたか一歩踏み出し同期生に声をかけ集われませんか。青春時代を共有した友は貴重ですし、年を重ねるとありがたい存在になると思います。



昭和44年体育館落成式

県大祭



### 創立七〇周年によせて

第十九回生(昭和四十五年卒)

英文科 坂口 勝美

創立七〇周年おめでとうござい  
ます。昨年、卒業してから五〇年ぶりに  
母校を訪問しました。キャンパスは校  
舎、図書館、学生会館など建て替えら  
れ大きく変貌しておりますが過ぎし  
学生時代がよみがえってきました。

昭和四十三年入学当時、英文・国文  
科校舎は木造の二階建てでした。



グラウンドの端の方には学生寮もあ  
り、たまに訪ねていました。現在の体  
育館は四十五年三月に新築され、そこ  
で卒業式が挙行されました。通学は市  
電が走っており大変便利でした。

二年間の学生生活でしたが、授業は  
ぎっしり詰まっておりますほとんど空き時

間はありませんでした。しかし、内容  
は四年制大学に負けないぐらい濃いも  
のでした。恩師は面倒見のいい、山好  
きな英文学の上村盛雄先生、英作文の  
温和な和也先生、英語学の新任の杉山  
先生、英語音声学の低音が魅力の門田  
先生など懐かしく思い出されます。

卒業後は中学校の英語教員になりま  
した。当時は英語教員の採用数は一桁  
と大変少なく厳しいものでした。しか  
し、学校に赴任してみれば、県短の卒  
業生が多くいろいろな面で心強かった  
です。また、先輩達は県の教育界では  
大活躍されていました。みなさん県短  
の卒業生として誇りを持って教職に打  
ち込んでおられ、後に続かなければと  
気持ちを奮い立たされたものでした。

私は英語教員の一級免許状を取得す  
るため四年大学に編入しましたが、最  
近の県短の卒業生の進路状況を聞け  
ば、県内外の四年大学への編入者が  
年々増加し、平成三十一年は二十七名  
が編入しているようです。であれば、  
なおさら県短の四年大学化は必要と考  
えます。

現在、同窓会では県短の四年大学化  
を目指し大学とも連携し、その方向性  
や構想を模索しているところですが、  
非とも積年の願いをみんなで早く実現

させたいものです。

在学生の皆さん、県短ブランドは昔  
も今も社会の評価は高いです。夢の実  
現に向けて充実した学生生活を送って  
ください。

母校のますますの発展をお祈りして  
おります。

### 英文科を卒業して

第二十二回生(昭和四十八年卒)

英文科 宮崎 文夫



五十年ほど前に県短英文科を卒業し  
ました。卒業後建設会社に就職しまし  
た。畑違いの仕事で不安な日々でした  
が、或る日、当時の社長にいきなり大  
声で、「おい！シミュレーションとは  
なんだ？」と聞かれました。私は「予  
行演習のことです」と答えました。社

長は大いに納得され、褒められたと記  
憶しています。

数年前に他界した義母も、若き日に  
職場の上司に「エデンの東の俳優は  
誰？」と聞かれて「ジェームスディー  
ンと答えて褒められた」と何度も何度  
も話していました。こんな小さな事  
が、案外、人生を支えているのだと思  
います。

もう三〇年も建設関係のプログラミ  
ングの仕事をしています。同窓会の役  
員を仰せつかっていますが、役員会の  
主な議題は「短期大学の四年制への移  
行促進」です。ただ、今現在は感染症  
流行の真っ只中なので、あえて別なこ  
とを訴えたいです。それは「プログラ  
ミングを学ぶことの大切さ」です。自  
分の作ったプログラムで、コンピュー  
タを動かし結果を得る快感は素晴らし  
いものです。

幼児にプログラミングを教えること  
があるようですが、私は反対です。プ  
ログラミング教育の対象は実務経験の  
ある三〇歳前後が最適だと思います。

県短には第二部(夜間部)がありま  
す。ここに、社会人を対象にした「プ  
ログラミング学科」を創設すれば全国  
から受験生が殺到するのではないかと  
などと勝手に思っています。

県短を卒業して

第三十四回生(昭和六〇年卒)

商経科 平田 真弓



「県短に行けるくらいに勉強を頑張ってくれる子だったからねえ。」とブランクをこぐ私に母が言った。私は小学二年生、PTAの帰りの思い出である。「県短」という言葉を聞いたのはこれが初めてであった。母は経済的な理由から商業系の高校を卒業し、すぐに就職した。その母の自慢の長兄は大学卒業後教職に就き、当時学校長であった。母は兄と同じように進学したかったのかもしれない。

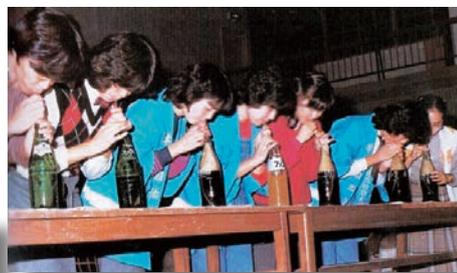
その兄の一人娘が県短に進学した。それで私にも県短に行ってほしいと考えての言葉だったのだろう。運良く私が県短に合格したときはとても喜んでくれた。でも、周りの人からの「良かったね、頑張ったね」とのお祝いの言葉

に対して、「イヤヤ、ゼンゼン、ブントヤット(いいえ、全く、駄目駄目です)」と言って否定(謙遜)した。ひどい母である。でも母に勧められて進学した県短での二年間は充実していた。一般教養でのアール・ヌーボー、植物が日光に向かって伸びるための分泌物、人種のつぼ、源氏物語の夕顔、先生の季節ごとの話が楽しみだった。アイブライターの授業、鹿児島では珍しかったアイススケートの授業、ゼミでのロビンソン・クルーソーの合理的精神や経営学総論、商学総論、年金問題等々、今思い出しても本当に多くのことを学ばせていただいたと思う。先生方もとても魅力的で、知的大人とはああいいうものかと一人納得したものである。

黄色い花を咲かせるミモザ(本当はニセアカシアというらしい)をはじめとする四季折々の花々も県短生活の中にセットになり、思い出を文字どおり彩ってくれている。

私の娘も縁あって今、県短に在学中である。友人関係、授業、学校行事とも盛りだくさんで充実しているらしく、学校が楽しくて仕方ない様子である。母が生きていたらどれだけ喜んだらうか。でも他人様からお褒めの言

葉をいただいたなら、きっとまた「イヤヤ、ゼンゼン、ブントジャット」というに違いない。  
県短は私にとって、親子ともにお世話になったとても大事な学校である。創立七〇周年を迎えるという。さらには四大化を目指しているという。どこまでも進化を続ける県短に、頼もしさや誇らしさを感じずにはいられない。



前夜祭 早飲み競争

LL授業



令和元年新入生歓迎会  
レクリエーション



平成23年  
県大祭 仮装



平成17年  
第1パソコン教室



平成3年  
神輿担ぎ



# 鹿児島県立短期大学創立70周年が小特集で紹介されました。

## 小特集

# 「県短」創立70周年!

「県短」の愛称で親しまれている「鹿児島県立短期大学」は、鹿児島県の高等教育機関として、これまでにおよそ1万6千人の卒業生を送り出してきました。

さまざまな分野で活躍する人材を輩出し、地域社会の発展に貢献し続ける「県短」は、今年4月に創立70周年を迎えました。



正門と濃緑のクスノキが学生たちを迎え入れる



学生たちの憩いのスペース



約14万冊の蔵書を誇る附属図書館

## 設置学科

設置学科は、昼間課程3学科6専攻、夜間課程1学科の充実した構成となっています。

昼間課程

文学科

日本語日本文学専攻  
英語英文学専攻

生活科学科

食物栄養専攻  
生活科学専攻

商経学科

経済専攻  
経営情報専攻

夜間課程

第二部商経学科

## 県短とは?

鹿児島県立短期大学(県短)は、鹿児島市下伊敷にある県内唯一の県立短期大学です。

1950年に鹿児島県立短期大学部として、文科、家政科、社会科の3学科で開学しました。翌年の1951年には社会科を商経科に名称変更し、夜間の第二部商経科と電気工学科(1953年に電気科に名称変更、1960年に廃止)を開設しました。1958年には県立大学の廃止に伴い、鹿児島県立短期大学が発足しました。

「県短」の特長は、少人数教育をはじめとするバラエティに富んだ教育活動です。また、大学では県内唯一の夜間部を設置しており、働く人などにも広く学びの門を開いています。

考案者 瀬戸口 芽依 さん  
(生活科学専攻 2年)



70周年を迎える県短。人と言うと70歳、古希になります。古希では、長寿と、もっと長生きすることを願って、紫の衣装でお祝いします。県短は、これまで社会で花開いたたくさんの学生たちを見守ってきました。そんな県短に感謝の心をこめて、紫の花束をモチーフにデザインしました。

決定したロゴ



70周年記念ロゴの作成  
昨年、本学図書館ミニギャラリーにて70周年記念ロゴコンテストが行われました。本学の学生が作成した10作品の中から、学生教職員の投票により、今回の記念ロゴが決定しました。

創立70周年記念事業

# 鹿児島県広報誌 グラフかごしま 令和2年7月号

## バラエティに富んだ教育活動

### 少人数教育

少人数教育によるきめ細かい指導を行っています。学生と教員の距離が近く、アットホームな雰囲気の中で相談しやすい環境があります。その結果、高い就職率やコンテストでの受賞などを実現しています。



授業の様子

### IT教育

IT教育にも力を入れており、学内にはパソコン教室やパソコン自習室などが完備され、学生用のパソコンが160台以上設置されています。資格取得も可能であり、日商PC検定では、高い合格実績を誇っています。



パソコン演習の様子

### 海外研修

夏季休業中の2週間、希望学生を対象に、ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジで海外研修を実施しています。英語とハワイ文化を学ぶことができ、学生の満足度は非常に高いです。



海外研修の様子

## 学長・学生インタビュー



### 塩地 洋 学長 「国際化と郷土知を教育の柱に」

今年4月に県短に着任した新米です。生まれは和歌山で、祖父は鯉節の工場をしていました。1974年に京都大学入学以降、学部生、院生そして教員として41年間京都大学に在籍していました。教員時代は年に2か月程度は海外調査に出ており、自動車産業の国際比較をテーマに79か国、8000か所の現地取材を行い、各国のモータリゼーションの実情や自動車産業の国産化の相違を調査していました。そうした海外での経験をぜひ県短の学生に伝えたいと思います。また、国際人として海外で活躍するためにも自らのアイデンティティを知ることは重要です。県短の学生が地元鹿児島の郷土知を深めることを重視していきたいと思います。

文学科 英語英文学専攻 2年  
前 里緒奈 さん

### 「チェスト!きばっど!」

私は、県短の自治会長をしています。今年はコロナウイルスの感染拡大防止のため、多くのイベントや行事が中止になってしまい、何も活動ができず悔しい思いをたくさんしました。しかし、鹿児島の偉人、西郷隆盛の言葉にこんな言葉があります。“幾度か辛酸を経て、志始めて堅し。丈夫玉砕して 軀全(せんぜん)を恥ず。”「何度もつらい思いをして人の信念というものは固まる。何もせず瓦のようにいることを恥じる。」という意味です。何もせずいることより、何か自分にできることはないかと、常に考えて生きていた西郷どんのように、私もこれからも県短を盛り上げていけるように精進していきます! チェスト!きばっど!



## その他特別企画の実施

### 70周年記念誌の発行

60周年記念誌を引き継ぎ、県短の9年間(2011年〜2019年)のあゆみを掲載

### スイーツの商品開発

学生が企業と共同でスイーツを開発。県内での一般販売も検討中

### 70周年グッズの作成

記念ロゴを付けたのぼりや横断幕、文房具などの記念グッズを作成

### ホームカミングデーの実施

コロナ禍で中止になりました



【問い合わせ先】 鹿児島県立短期大学 〒890-0005 鹿児島市下伊敷1丁目52番1号 TEL:099-220-1111

同窓会役員紹介(敬称略)

名誉会長(学長)	塩地 洋
会長	南谷 一生
顧問(大学事務局長)	松元 祐成
副会長	水流 涼子
同	宮崎 文夫
同	新田 弘子
同	前村 瑞枝
同	松木田義和
同・事務局長	木島 隆
監事	油田 幸子
同	上谷 和久
事務局会計係	松元 眞美
同	有村 恵美
同	前 里緒奈
同(一部自治会長)	翁長 亜衣
同(二部自治会長)	上山 佳子
同(市役所支部長)	有馬 浩幸
同(県庁支部長)	宮竹 道子
代表代議員(国文)	富樫恵美子
同	泊 興子
同	前田 孝子
同	松寄ひとみ
同	清水 聡子
同	坂口 勝美
代表代議員(英文)	鮫島千穂子
同	吉永 桂子
同	山下 憲子
同	小杉 由美
同	濱崎 可奈
同	宮蘭 舞
代表代議員(食栄)	町田美由紀
同	徳重 覚美
同	大江由美子
同	下村 洋子

同	塘 涼子
同	橋口 住眞
同	江口 晶子
代表代議員(被服)	辻村 弘子
同	桑鶴 裕子
同	井手真理枝
同	坂口まゆみ
同	山下美智代
同	木原 京美
同	外蘭 絹代
代表代議員(商経)	平田 真弓
同	福田 茂史
同	山下 清史
同	向窪 明子
同	馬場八千代
同	中山 佳月
同	瀬戸口 宏
同	萩原 潤
同	上村つくし
同	富満 香水
同	西ノ園千夏
代表代議員(二部商経)	畠中 敏彦
同	上栗洋一郎
代表代議員(二部商経)	松元 重幸
同	福山 芳明
同	木元 金市
同	森永 英明
同	小原 市志
同	江口 和哉
同	豊田 真琴

同窓会の運営

同窓会の目的

会員相互の親睦及び母校の発展に寄

与することです。  
総会の開催

全体総会は現実的に困難なことから、平成二十四年に規約が全面改正されました。総会は毎年五月に代議員(五十五人以上)により実施しますが、誰でも参加して意見を述べることができ、是非、ご参加ください。

歴代会長紹介

- 初代 前田利雄氏(昭和三十四年)
- 第二代 春田 穂氏(昭和三十六年)
- 第三代 西屋良信氏(平成二十二年)
- 第四代 南谷一生氏(平成二十八年から)

同窓会ホームページ

ホームページは在学生を含めた同窓会員の交流広場。同窓会情報のほか、県立短大ホームページ等にもリンクしています。

会員登録するとトップページ以外の、会員限定コミュニティサイトを見ることができ、また住所変更等の手続きもできます。

登録方法は、パソコン、スマホで、IDとパスワード入力し、手順に従い登録します。IDとパスワードを忘れた方はトップページの「パスワードを忘れたときは？」で再取得してください。

大学創立七〇周年記念

同窓会事業

同窓会では五年ごとに大学創立記念

事業を実施しています。コロナ禍で祝賀同窓会は中止しましたが、今年度は次のような記念事業を実施します。

- 一 母校の発展に寄与する事業  
教育研究・環境の充実、学生の利便性向上等に役立つよう同窓会ができる最大限の貢献を行います。

- 二 会報の発行  
五年に一回、同窓会報を発行して全会員にお届けします。

- 三 同窓会名簿の発行  
五年ごとに再編集し発行します。希望者には有償斡旋いたします。

- 四 写真で振りかえる県短七〇年  
同窓会、大学、振興会、学生自治会による七〇周年実行委員会で事業決定し、大学が作成して県短ホームページに公開します。同窓会ホームページでもご覧いただけます。

編集後記

会報発行に当たり多くの方にご協力いただきました。特に塩地洋学長、木戸裕子教授兼学生部長、岡村俊彦教授兼附属図書館長、松元祐成事務局長ほか事務局職員、一部・二部自治会長、同窓会有志の皆様と小野高速印刷㈱に心から感謝申し上げます。

(木島 隆)